

# 「人」と「本」を繋ぐ!

2018. 11. 15

美幌町図書館長 竹花 史康

今年は例年より初雪がかなり遅いようですが、いよいよ寒さとともに外出することが少し面倒になる時期になってきました。そんなときほど、ぜひ図書館で体も心も暖めていただければ嬉しく思います。

近年、図書館は本の貸し出しにとどまらず、町民の皆さんが図書館を通じて学習し、文化的な営みができようように多様な取り組みや新たな工夫が求められています。もちろん、美幌町図書館としても「036こども未来絵本事業」など、独自の事業に取り組んでいるところです。これからも皆さんの要望に corres 応するため、新たな取組を模索していきたいと考えています。

しかしながら、やはり「人」と「本」をいかに繋げていくのか、そのことも大切にしていきたいと強く感じさせられることがありました。それは、今年度の美幌町小中学生読書感想文コンクールで最優秀賞を受賞した田中菜摘さん（美幌北中学校3年）が表彰式の際に自らの読書経験として、『・・・私は現代作家を読むことが多かったのですが、夏目漱石の「坊ちゃん」が図書館の新刊コーナーにあったのがきっかけで読んでみると、とても面白くて一気に読みました。・・・』と話してくれたことです。これこそ、まさに図書館が「人」と「本」を繋ぐきっかけとなったすてきな出来事の一つです。

図書館に求めることは、人によって様々であると思いますが、それでも読書という営みが、皆さん一人一人の日常でありつづけられるよう、これからもお手伝いしていきます。

